

2015 年度事業計画

自 2015年 4月 1 日

至 2016年 3月31 日

公 1

視能障害防止および眼保健衛生の普及・啓発を図ることによって国民の健康維持向上に寄与することを目的とした健診・調査・広報・出版・支援事業と、視能に関する学問・技術の発展と優れた人材育成を図ることによって臨床現場で質の高い医療を提供することを目的とした学会・講習研修・教育事業

【 1 】 国民への眼保健衛生の普及・向上に関する事業

1. 健診に関する調査・支援事業（以下、健診事業）

- (1) 新生児から成人に至るまでの視覚発達に関する情報をインターネットホームページに掲載する。
- (2) 視覚感受性期にある乳幼児を対象とした「目の健康チェックシート」をインターネットホームページに引き続き掲載（ダウンロード可能）するとともに、当該文書を各市区町村医療センターへ配布し、乳幼児期に発見し治療すべき疾患への注意を促す。
- (3) 三歳児健康診査での眼科検査方法を解説した「三歳児眼科健診マニュアル」を引き続きインターネットホームページに掲載し（ダウンロード可能）、検査技術及び精度の地域格差を改善する。
- (4) 成人を対象に眼科各種健診および検診の重要性を啓発する成人版「目の健康チェックシート」を作成し、国民に眼保健衛生の重要性を伝える取り組みを行う。
- (5) 全国で開催される「目の愛護デー」関連事業へ参加協力し、眼保健衛生の普及・向上に努める。特に東京都においては、東京都眼科医会が主催するTokyo Eye Festivalに参加し、視能に関するトピックスを来場者に紹介することを通じて、視能訓練士がQuality of visual life に果たす役割を広くアピールする。

2015年 10月3日（土）・4日（日）：新宿西口イベント広場

2. 広報事業

- (1) インターネットホームページ等を通じて社会へ眼保健衛生の啓発と推進を行う。
- (2) インターネットホームページに倫理規程を公示し、視能訓練士の職業倫理の高揚と業務への責任を喚起する活動を行う。
- (3) 協会ポスターとリーフレットを会員や関連諸団体へ配布して「視能訓練士」の名称および職務の広報に努める。
- (4) 東京都看護協会がナイチンゲール生誕記念事業として主催する「看護フェスタ」へ参加し、来場者の視力検査を行い、眼疾患を啓発するパンフレットおよび視能訓練士に関するリーフレットを配布する。

2015年 5月16日（土）：新宿西口イベント広場

- (5) 中学生・高校生に対しては積極的に視能訓練士の職務を紹介し、視能矯正学を学ぶ学生に対しては本協会の事業を紹介するJACOメイト制度を設け、早期から本職や本協会への興味や理解を促す。
- (6) インターネットホームページの拡充を行う。

3. 調査事業

- (1) 視能矯正・訓練普及の実態調査を行う。
- (2) 視能の病態および視能矯正の実態調査を行う。
- (3) 視能訓練士に関するアンケート調査を行い、実態調査報告書を発行する。
- (4) 新規免許取得者の就業状況調査を行い、就業傾向を把握する。
- (5) 定款施行規則を検討し、必要に応じて改定する。

4. 渉外事業

- (1) 国内関係諸団体との相互の協力について交流を密にする。
 - 1) 監督官庁（内閣府）及び関係官庁（厚生労働省・文部科学省）へ、協会の現況について連絡交流を図る。
 - 2) 研究諸団体（日本眼科医会・日本眼科学会・日本弱視斜視学会・日本眼光学学会・日本小児眼科学会・日本ロービジョン学会・医療研修推進財団・国際医療技術財団等）と学術・技能向上の為の提携交流を図る。
 - 3) 医療技術者21団体協議会・東京都医療従事者ネットワーク連絡会に参加し、医療技術者団体間での交流を図り、医療技術者の相互理解を深める。
 - 4) 国民医療推進協議会へ参加し、参加団体と協力して国民皆保険制度を守る活動を行う。
 - 5) チーム医療推進会議へ参加し、医療技術者団体間の連携を深め、医療技術者の社会的地位向上に向けた活動を行う。
- (2) 国外の視能矯正学分野に関係する団体と交流し、知識・技術の提携を行う。
 - 1) 国際視能矯正協会代表者会議及び年次総会に出席する。

国際視能矯正協会 (IOA) 理事会・年次総会 2015年 9月16日～9月19日：スイス
 - 2) アジアの友好国（フィリピン、タイ、カンボジア、モンゴル、シンガポール等）との関係を深め、技術提携のための実態調査を行う。

2015年8月～9月：モンゴル（予定）

5. 出版事業

- (1) 日本視能訓練士協会誌（学術論文集、第44巻）を雑誌として発刊し、電子ジャーナル（J-STAGE）を公開する。
- (2) 日本視能訓練士協会会報（第125号、第126号）を2015年10月と2016年3月に発行する。

6. 災害時支援事業

- (1) 東日本大震災の被災地区における眼科医療活動（プロジェクト・ビジョンバン）へ参加協力し、被災者を対象とした眼科検診を検査面から支援する。
- (2) 首都圏での大規模災害発生時、公益目的事業遂行可能な事務局環境整備を行う。

【2】国民に良質で安全な医療技術を提供するための視能訓練士教育事業

1. 学会事業

- (1) 日本視能矯正学会を開催し、次年度以降の学会開催準備を行う。
 - 1) 第56回（2015年）開催

2015年11月7日（土）・8日（日）：東京国際フォーラム

学会テーマ：「Fusion－知識、技術そして心」

学会長： 根本 加代子（根本眼科）

名誉会長：根本 龍司（根本眼科 院長）

2) 第57回（2016年）学会開催準備

2016年10月15日（土）・16日（日）：大阪国際会議場

学会長：松本 富美子（近畿大学堺病院）

3) 第58回（2017年）学会開催準備

2017年10月28日（土）・29日（日）：仙台国際センター

学会長：小野 峰子（東北文化学園大学）

名誉会長：浅野 浩一（東北文化学園大学）

(2) 日本臨床眼科学会視能訓練士プログラムを開催し、次年度の開催準備を行う。

1) 第69回日本臨床眼科学会視能訓練士プログラム開催

2015年10月22日（木）～25日（日）

会場：名古屋国際会議場、ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋

テーマ：「視力検査-視力表選択の根拠と測定のコツ」

2) 第70回日本臨床眼科学会視能訓練士プログラム開催準備

2016年11月3日（木）～6日（日）

場所：国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都

2. 講習研修事業

(1) 講演会を開催し、次年度の開催準備を行う。

1) 第31回開催 2015年6月14日（日）：日本消防会館（東京）

講演内容：「強度近視に伴う固定内斜視の新しい概念」

演者：横山 連（大阪市立総合医療センター 小児眼科部長）

2) 第32回開催準備 2016年6月5日（日）：大阪商工会議所（大阪）

(2) 研修会を開催し、次年度の開催準備を行う。

1) 第14回研修会開催 2015年6月14日（日）：（東京）第31回講演会と併催

研修内容：「緑内障の視野検査～コツと落とし穴」

2) 第15回研修会開催準備 2016年6月5日（日）：（大阪）第32回講演会と併催

(3) 光学と眼鏡に関する研修会を後援し、次年度の開催準備に協力する。

2015年 8月1日（土）・2日（日）眼光学チュートリアルセミナー

(4) 視能訓練士のためのロービジョンに関する講習会を日本ロービジョン学会と共催し、次年度の開催準備を行う。

2015年 9月20日（日） 東京大学医学部附属病院

2015年10月18日（日） 東京大学医学部附属病院

2015年11月 1日（日） 東京大学医学部附属病院

3. 教育事業

(1) 視能訓練士生涯教育制度の各教育プログラムを実施する。

1) 新人教育プログラム

講義日程

2015年 7月 19日（日）・20日（月・祝）

AP浜松町（東京）

2015年 9月 20日（日）・21日（月・祝）

大阪商工会議所（大阪）

技術日程ブロック単位開催

北海道ブロック

8月30日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	萬田記念病院
9月13日(日) 視力・屈折検査	萬田記念病院
10月18日(日) 視野検査	吉田学園医療歯科専門学校

東北ブロック

10月11日(日) 視野検査	仙台医健専門学校
10月12日(月・祝) 両眼視・眼位・眼球運動検査	仙台医健専門学校
11月29日(日) 視力・屈折検査	東北文化学園大学

関東甲信越ブロック

7月26日(日) 視野検査	帝京大学医療技術学部
9月27日(日) 視力・屈折検査	帝京大学医療技術学部
2016年 1月17日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	帝京大学医療技術学部

東京ブロック

7月26日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	帝京大学医療技術部
9月27日(日) 視野検査	帝京大学医療技術部
2016年 1月17日(日) 視力検査・屈折検査	帝京大学医療技術部

東海・北陸ブロック

6月21日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	愛知淑徳大学
10月10日(土) 視野検査	愛知淑徳大学
10月11日(日) 視力・屈折検査	愛知淑徳大学

近畿ブロック

6月21日(日) 視力・屈折検査	関西医科大学附属枚方病院
6月27日(土) 視野検査	大阪医専
8月22日(土) 両眼視・眼位・眼球運動検査	大阪医療福祉専門学校

中四国ブロック

7月12日(日) 視力・屈折検査	川崎医療福祉大学
11月29日(日) 視野検査	川崎医療福祉大学
2016年 3月6日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	川崎医療福祉大学

九州ブロック

10月25日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	熊本大学医学部山崎記念館
11月22日(日) 視力・屈折検査	大分視能訓練士専門学校
11月23日(月・祝) 視野検査	大分視能訓練士専門学校

2) 基礎教育プログラム

基礎教育プログラムⅡ 開催

2015年 7月 18 日(土)・19日(日)・20 日(月・祝)	AP浜松町 (東京)
2015年 9月 19 日(土)・20日(日)・21 日(月・祝)	大阪商工会議所 (大阪)

基礎教育プログラムⅢ 開催

2015年 10月 10日 (土) 視能障害学	10月 11日 (日) 視能矯正学
	機械振興会館 (東京)

2016年 2月 20日 (土) 視能矯正学 2月 21日 (日) 視能障害学

CIVI新大阪東(大阪)

3) 専門教育プログラム

専門教育プログラムの実施に向けた準備を行う。

- (2) 公益財団法人医療研修推進財団が主催する実習施設指導者等養成講習会を後援する

9月 19日(土)・20日(日)・21(月・祝) 大阪医療福祉専門学校(大阪)

- (3) 施設見学研修を行う。

実習施設指導者等養成講習会修了者(全修了者)が勤務する施設で、2015年9月から2016年3月の間、希望者に対して施設の見学および研修を行う。

- (4) 「眼科スタッフビデオ」シリーズのDVDを希望者に貸し出し、技術研修に役立てる。

その他の事業(相互扶助等事業)

視能訓練士の資質向上を目的とした自己研鑽を奨励し、学術技能を評価して認定および表彰する事業

1. 認定視能訓練士に関する事業

- (1) 視能訓練士生涯教育制度基礎教育プログラムを修了し、所定の条件を満たす者を「認定視能訓練士」と認定し、以後5年ごとに認定更新を行う。

- (2) 専任教員認定制度の認定条件を満たす者を「認定専任教員」と認定し、以後5年ごとの認定更新を行う。

2. 学術奨励賞に関する事業

- (1) 該当論文を選出し、第6回学術奨励賞を授与する。

2015年度に発行予定の日本視能訓練士協会誌第44巻に投稿された学術論文の、対象論文から選考し、第56回日本視能矯正学会で学術奨励賞を授与する。

以上